



ブラジルレポート

為替・株式市場

	2月08日	2月11日	18年末	17年末	16年末	15年末	14年末	13年末
為替レート(R\$/US\$)	3.72	3.70	3.87	3.30	3.25	3.96	2.65	2.34
株価【BOVESPA】(ポイント)	95,343	94,412	87,887	76,402	60,227	43,350	50,007	51,507

Bolsonaro政権の40日

現地で直接タクシー運転手、金融アナリスト、駐在員、コンサルタント、鉱山企業等に現在のブラジルの治安、経済、政治等についてヒアリングをした。

- ・全般的に、新政権が選挙キャンペーンでの公約を実行しようとしている姿勢があり、「期待を持たながらどうなるか半年~1年の様子を見よう」の雰囲気を感じられる。例え、反Bolsonaroであっても、彼が選挙を勝った事実を受けとめ、期待へのチャンスを与えようとしている人は少ない。Moro法務大臣が犯罪法の見直し、Guedes財務大臣の年金改革等は国民/市場 へのアピールは効果大きい。
- ・とは言え、治安は突然改善しない。治安に関しては「大変」の水準から変わりのない状況である（直ぐに良くなる気配もなし）。
- ・一方、経済面では米国の金利、米中貿易摩擦の外部要因の影響があるにしろ、Guedes財務大臣のメッセージに株価と為替は反応し改善傾向にある。
①年金改革；②税制改革&民営化；③市場の規制緩和；④社会政策（不公平差の低減）
- ・アナリスト/コンサルタントの現在の見通しと心配事項は次の通り：

- (1)経済面では収支のマイナス、公債の増加、1,200万人の出業者、低生産性、経済は「緩やかな回復」程度が懸念材料で、バランスの対外収支、3,800億ドルの外資準備高はポジティブ要因と見ている。同時に近年にない低インフレ(3~4%台)が続いており、更に金利を低下させる機会とも見られている。
- (2)新政権は政治交渉の経験が浅い上、安定した基盤(組織)を持っていない。国会対応では非常に重要。政党のリーダーを横座りしていると国会対応は難航する。
- (3)閣僚組織が4分裂している：①軍出身グループ；②Guedesの財政改革グループ；③Bolsonaro子息の保守派グループ；④従来政治家グループ
政権のPriority事項が統一されないし、団結が困難。

・いずれにせよ、年金改革法案が可決できるか否かが新政権の重要なポイント。

現段階の市場の見通し・調査は次の通り：

- 約50%の国会議員は6月末まで審議できると言っている。
- 約80%の国会議員は年末まで審議できると言っている。
- 約70%の下院議員は可決できると思っている。(法案の詳細はまだ明確になっていないが)
- 約80%の上院議員は可決できると思っている。

* 法案の可決の見通しがつくと経済は活性化され、株式・Bovespa指数は120,000ポイント超えるとも言われている

